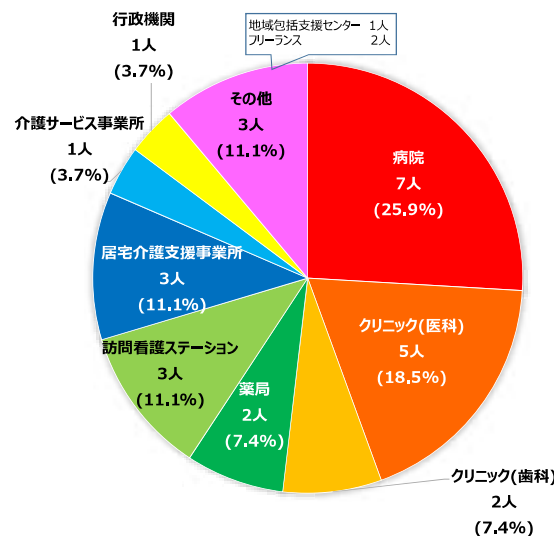


令和7年3月11日(火) 開催

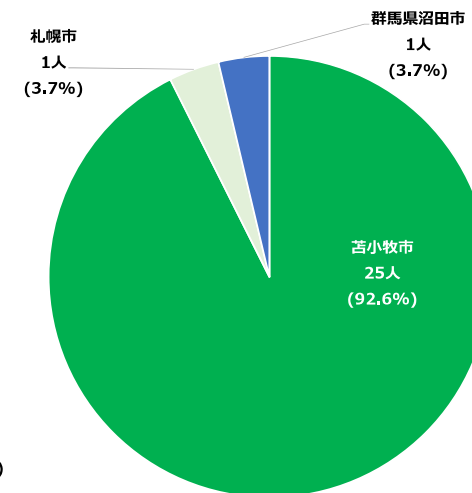
第11回 在宅あるある会 アンケート結果

参加者 44人
回答者 27人
回答率 61.3%

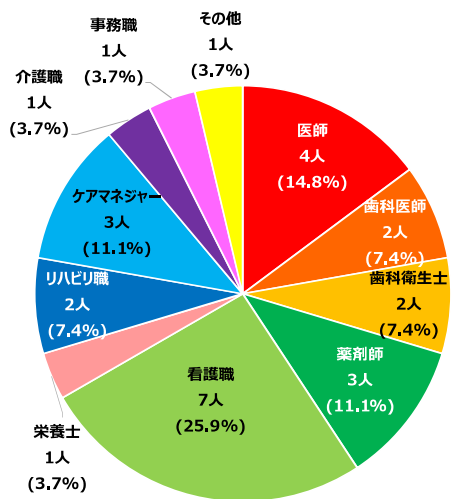
問1 該当する所属機関を1つだけお選び下さい。



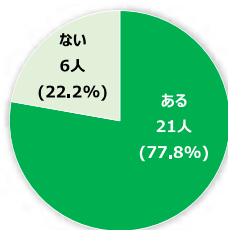
問2 所属機関の地域を教えてください。



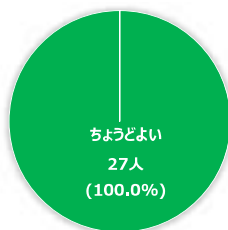
問3 該当する職種を1つだけお選び下さい。



問4 この一年間で在宅医療にかかわったことがありますか。
(依頼や退院時カンファレンスへの参加を含む。)



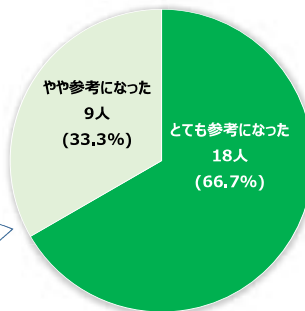
問5 在宅あるある会の時間はいかがでしたか。



問6 講演『在宅医療における歯科衛生士の機能と役割～医療機関と在宅(生活施設を含む)での食べられる口に
係わる支援と連携～』は参考になりましたか。

問7 問6の回答を選択した理由について具体的に教えてください。

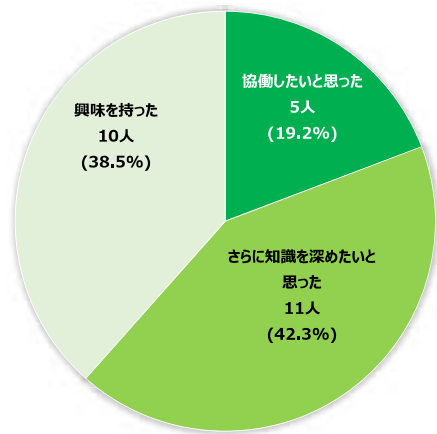
- 衛生士の仕事の範囲がわかった。
- 職種の役割の理解が増した。
- 歯科診療や歯科衛生士の関りを知ることができた。
- 口腔ケアの重要性をあらためて認識させられた。
- 食事が出来るのは幸せだとよく聞く。



- 歯科衛生士の活躍の場が診療所だけではなく訪問診療、在宅などにも以前に比べると広がってきていると感じています。
- 歯のトラブルが出た場合の対応の仕方を知ることができました。歯があることでメリットもあれば、認知症などで清潔を保つのが難しい方がいる場合もあることがわかりました。
- 実際に口腔ケアをされている内容も入っていたので、とても勉強になりました。これから歯科衛生士がもっと在宅の方へ眼を向けていけるように日々勉強していきたい。
- 症例をうまく入れながらの話はわかりやすかったです。
- 口腔ケアについて改めて勉強になったから。
- 口腔ケアや口腔機能のリハビリに関わっているの、義歯の取り扱いや残根の状況確認などこれまでよりも詳しく評価できるような気がします。
- 義歯の清掃は大変参考になり役立ちました。
- 訪問歯科診療の実態（使用している器具や訪問時に何をしているかなど）について、まったくわかっていなかったのが参考になった。

- 訪問歯科診療も歯科医院と同等の治療を行っているということがわかった。施設において介護職員等がもっと自分のこと感じて歯科連携していけると良いと思いました。藤岡さんが行っている活動が広がっていくと良いと思っています。
- 在宅の歯科衛生士の活動を知らなかった。
- 歯科衛生士さんの訪問について知識が無かったため。
- 歯科とはサービスを提供する中で連携することはあるが直接話を聞いたりすることが少ないから。

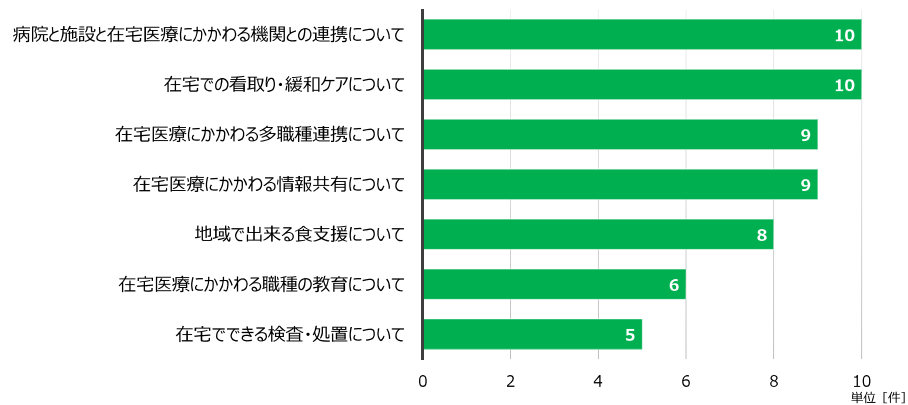
問8 今回の在宅あるある会に参加し、在宅医療における歯科衛生士との協働についてどう思われましたか。



問9 今後、在宅医療における歯科衛生士にかかわってほしい(かかわりたい)ことを教えてください。

- 治療以外の口腔に関する相談(歯科衛生士業務の範囲で)、口腔ケア、なんとなく心配という事柄、家族への指導(義歯管理など)。
- 歯磨きできない方の衛生面など。
- 食支援。
- 口腔フレイルなどの講話など地域に向けて一緒に活動してほしい。
- 家族等への基本的な口腔ケアの講習会。
- 口腔ケアと、残存歯がどのように機能しているか。抜歯が良いのか残っているのが良いのか。
- 口腔衛生の推進。
- 薬剤師の立場としては服用している薬剤によっては嚥下機能に影響を与えるものもあるので、連携していきたいと感じた。また年齢や患者さんの状態によっては服用するのが難しい薬剤(粉薬など)もあるので、多職種で協力して患者さんのアドヒアランス(患者が治療方法について理解し同意したうえで積極的に治療を受けること)を維持できればいいと感じた。
- 歯科往診については理解していましたが、実際歯科衛生士の対応が苦小牧は何名ぐらいの利用者さんに実施可能なのかわかりたいと思いました。あくまでも歯科医師の指示の元実施すると思うので、実施している歯科医院がどのくらいあるのかも知りたいです。必要な人はたくさんいると思うので、もっと告知しても良いのかと思いました。

問10 今後、開催してほしいテーマ研修はありますか。 ※複数回答可



問11 今後、在宅あるある会で取り上げて欲しい内容があればご記入ください。

- 施設看取りについて 看取りまで可能な施設がまだまだ少ないと思うので。
- 認知症。

問12 その他、在宅あるある会についてのご意見ご質問があればご記入ください。

解答なし